

## 学会/受賞報告書

### 第55回日本リウマチ学会総会・学術集会 国際ワークショップ賞 受賞

血液・免疫病学分野 大学院生  
白井 剛志



今回、日本リウマチ学会国際委員会および国際委員会サブコミティにより、「国際ワークショップ賞」にご選考頂き、大変光栄に思います。この受賞はひとえにご指導頂きました藤井博司先生、張替教授をはじめ血液・免疫病学分野の先生方のおかげであり、心より感謝を申し上げます。

この賞は、海外と国内の若手研究者の交流の場を設け、相互の学術研究向上を目的としたセッションである国際ワークショップにおける発表演題の選考にあたり採択されるものであり、自分だけでなく、同世代の研究者の発表・討論を聞くことで良い刺激を受けることができました。

受賞研究：

レトロウイルスベクターシステムを用いた抗血管内皮細胞抗体対応自己抗原 FLRT2 の同定

白井 剛志、藤井 博司、中村 恭平、渡部 龍、田島 結実、高澤 徳彦、石井 智徳、張替 秀郎

抄録：

背景：抗血管内皮細胞抗体(AECA)は膠原病における血管病変との関与が指摘されているが、同定された対応抗原は細胞内蛋白が主である。細胞表面に存在する自己抗原を同定すべく検討を行った。方法：FACSにて膠原病患者血清のヒト臍帯静脈内皮細胞(HUVEC)へのAECA活性を測定した。HUVECのcDNAライブラリーを作成し、レトロウイルスベクターに挿入後、ラット骨髓腫細胞にHUVEC cDNAを発現させた。cDNA発現細胞をAECA IgGを用いてFACS sortingし限界希釈法にてクローニングした。結果：ループス腎炎患者血清 IgG を用いた sorting にて 2 クローンを単離し、2 クローン共に fibronectin leucine-rich transmembrane 2 (FLRT2) 導入を認めた。両クローン、HUVEC の FLRT2 発現を FACS にて確認、患者血清 IgG は FLRT2 強制発現細胞に結合した。結語：AECA の新規自己抗原として膜蛋白 FLRT2 を同定した。レトロウイルスベクターシステムは膜蛋白自己抗原の同定に有用である。